

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	ふるさとづくり寄附金事業	総務教育分科会

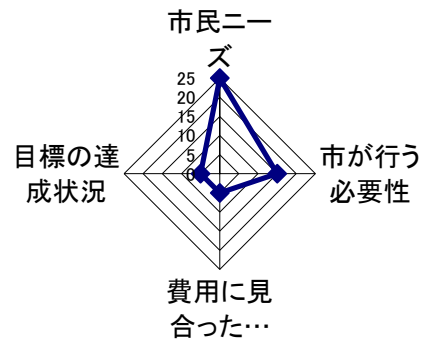
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ [評価の視点 当該事業が市民にとって有益となっているのか]	①きわめてニーズが高い(25点) ○ ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	25	市の財源確保のためには有効である。
(2) 市が行う必要性 [評価の視点 外部委託ができる部分はあるのか (できる部分が多い場合は「必要性が低い」と評価)]	①きわめて必要性が高い(25点) ○ ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	個人情報や税金を扱うため、市が行う必要性は高いが、「ふるぽ」や「ふるさとチョイス」以外にも優良なサイトの外部委託も活用する。返礼品取り扱い事業者を増やし、さらに魅力的な品揃えにする。
(3) 費用に見合った効果 [評価の視点 返礼品及び諸経費を差し引いた純寄附金は効果的に使われているか]	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ○ ⑥効果がない(0点)	5	4つの基金に振り分けて充当しているが、ほとんどが既存の事業に充てられており、寄附金による新たな効果が見えない。シティプロモーションの観点からもクラウドファンディングの手法による積極的な事業展開も考慮すべきである。
(4) 目標の達成状況 [評価の視点 シティプロモーションと地域経済の活性化につながっているのか]	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ○ ⑥成果がない(0点)	5	シティプロモーションの積極的な取組が弱く、返礼品を扱っている事業者の数からみれば地域経済全体の活性化につながっているとまでは言えない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

寄附金を既存の事業に割り当てるのみでなく、もっと市をアピールする事業を展開する。事業者の拡大を図り、地域経済の活性化に役立てるべきである。

課題と反省

平成30年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	ふるさとづくり寄附金事業	総務教育分科会

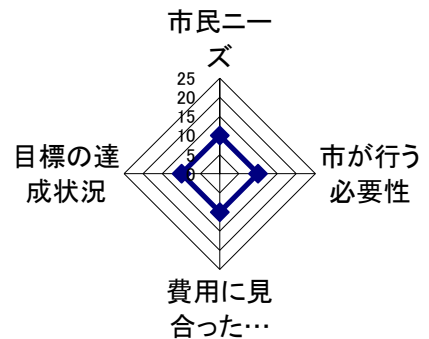
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ [評価の視点 当該事業が市民にとって有益となっているのか]	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	市民に情報が徹底されていない。各年度別の市の寄付金控除額を調査し、黒字・赤字の判断を公表すべきだ。各年度に市に入った実際の金額と返礼金額、控除による減額された市民税について計算すること。
(2) 市が行う必要性 [評価の視点 外部委託ができる部分はあるのか (できる部分が多い場合は「必要性が低い」と評価)]	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ○ ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	現在でも6割は外部委託に回されているとのこと。さらに外部委託すれば経費はどのくらいになるか調査すること。
(3) 費用に見合った効果 [評価の視点 返礼品及び諸経費を差し引いた純寄附金は効果的に使われているか]	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	各年度の各分野への積立金額は発表されているが具体的にどのように使われたか示すこと。
(4) 目標の達成状況 [評価の視点 シティプロモーションと地域経済の活性化につながっているのか]	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	当市におけるふるさと納税返礼品業者のアピールになっても当市の評価につながらない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	40
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
ふるさと納税については根本的に考え直す必要がある。総務省の考えを注視するべきである。返礼品契約業者の選定についても熟慮すべきである。

課題と反省

会派名	もりや新風会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	ふるさとづくり寄附金事業	総務教育分科会

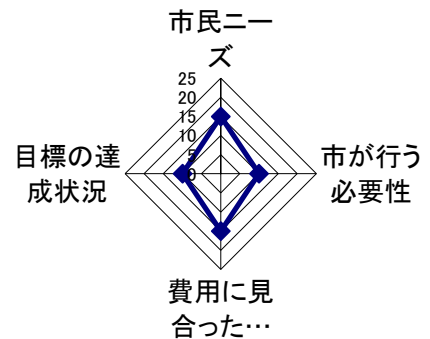
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント	
(1) 市民ニーズ [評価の視点] 当該事業が市民にとって有益となっているのか	①きわめてニーズが高い(25点)	○	15	ふるさと納税をする市民にとっては、節税対策として有効。ふるさと納税を受ける自治体の市民にとっては、市の財政面で市税収入の増となり歓迎される。
	②ニーズが高い(20点)			
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)			
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
(2) 市が行う必要性 [評価の視点] 外部委託ができる部分はあるのか (できる部分が多い場合は「必要性が低い」と評価)	①きわめて必要性が高い(25点)	○	10	行政はほとんど丸投げ状態で事業を行っている。人件費をほとんどかけずに市税を得ているのが現状、収入45%しか実質的に実入りが無い。これ以上の委託はないのではないか。
	②必要性が高い(20点)			
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)			
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
(3) 費用に見合った効果 [評価の視点] 返礼品及び諸経費を差し引いた純寄附金は効果的に使われているか	①きわめて効果的である(25点)	○	15	平成30年予算からその他財源として使われ、一般財源分を肩代わりしている。結果的に経常収支比率を5%以上引き下げ一般財源不足をカバーしている。一時的な財源として捉えて、記念事業的な使用(市民会館建設)を考えるべきではないか。
	②効果的である(20点)			
	③どちらかといえば効果的である(15点)			
	④どちらかといえば効果的でない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
(4) 目標の達成状況 [評価の視点] シティプロモーションと地域経済の活性化につながっているのか	①きわめて成果がある(25点)	○	10	守谷市の特性を持った返礼品とは言えない現状と、偏った一部事業者に貢献していることが、シティプロモーションとは縁遠いのではないのか。今は通販業者化しているのではないか。
	②成果がある(20点)			
	③どちらかといえば成果がある(15点)			
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

行政努力での財政健全化には貢献していない。流行りの通販事業で市税収入を上げて、先行きの見通しは立たない。他市がやるから守谷市も負けじとやっている感が強い。但し、災害支援の寄付活動については大いに賛成です。ふるさと納税の是非ではなく、社会貢献のツールとして活用されるのであれば、今後とも継続すべき。

課題と反省

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	ふるさとづくり寄附金事業	総務教育分科会

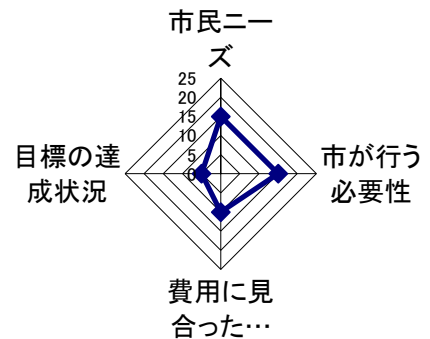
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ [評価の視点 当該事業が市民にとって有益となっているのか]	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	寄付金が多く集まれば、市の財政への一助となる。
(2) 市が行う必要性 [評価の視点 外部委託ができる部分はあるのか (できる部分が多い場合は「必要性が低い」と評価)]	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	納税事務等、市が行う必要がある部分もあるが、返礼品の選択など、外部委託ができる可能性はある。
(3) 費用に見合った効果 [評価の視点 返礼品及び諸経費を差し引いた純寄附金は効果的に使われているか]	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	純寄附金額が増減する可能性を考えると、多くの事業へのバラマキにはリスクがある。
(4) 目標の達成状況 [評価の視点 シティプロモーションと地域経済の活性化につながっているのか]	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ○ ⑥成果がない(0点)	5	返礼品の品目など、制度運用上、シティプロモーション等への繋がりが見られず、工夫も感じられない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	45
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

ただちに廃止する事業ではないが、政府の情勢によって、永続する制度とは思われない。
返礼品の選択など、外部委託できる余地を検討し、職員の負担軽減を図るべきである。
また事業の目的でもある、シティプロモーションと地域経済の活性化に寄与する、さらなる工夫も必要である。

課題と反省

会派名	もりや創世会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	ふるさとづくり寄附金事業	総務教育分科会

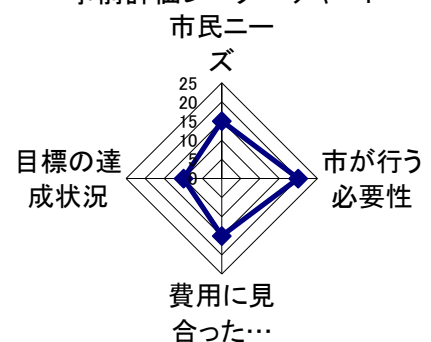
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ [評価の視点 当該事業が市民にとって有益となっているのか]	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	当該事業で増えた寄附金は市民活動にも充当されている。しかしながらその効果、その実感は未だ定かとなっていないため③とする。
(2) 市が行う必要性 [評価の視点 外部委託ができる部分はあるのか (できる部分が多い場合は「必要性が低い」と評価)]	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	税金、個人情報等に関する事項が業務の中で多いため、市が行う必要性が高いと考える。外部委託できる部分は少なく、今後は業務のオートメーション化の可能性もあることから②とした。
(3) 費用に見合った効果 [評価の視点 返礼品及び諸経費を差し引いた純寄附金は効果的に使われているか]	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	純寄附金額は年々増加の一途をたどっている。寄附金の増加により効果も上がるものだと考えるが、効果が市民の実感まで至っていないので③とする。
(4) 目標の達成状況 [評価の視点 シティプロモーションと地域経済の活性化につながっているのか]	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	市の謳っている目標の達成状況としては必ずしもシティプロモーションに大きく寄与しているとは考えにくい、また地域経済の活性化も一部の返礼品に偏りがあるため④とする。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	60
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
市の歳入を増やし、市民に還元できる仕組みとしてふるさとづくり寄附金事業は適正だと考える。しかし当該事業は近年通販感覚、節税対策目的で行われている節も見られる。うまく行わなければ市税は減少する中、守谷市は当該事業に関しては成功していると考えが行き過ぎた行政間競争にならないよう、市としてのふるさとづくり寄附金事業がどうあるべきかどうしていきたいか考えをまとめ、それを返礼品に反映していく時期に来ている。また増えた歳入がどう市民に還元されたか、これが減少、制度廃止になった場合のことも考える必要があり、成功しながらも多くの課題が残ることから60点という評価とした。

課題と反省

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	ふるさとづくり寄附金事業	総務教育分科会

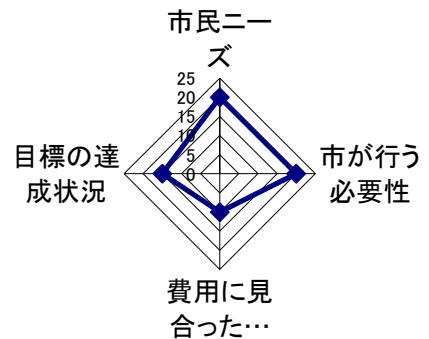
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ [評価の視点 当該事業が市民にとって有益となっているのか]	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ○ ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	20	寄付金額が返礼品のコストや住民税の控除分を差し引いてもプラスになっており、守谷市の歳入に大きく役立っている。
(2) 市が行う必要性 [評価の視点 外部委託ができる部分はあるのか (できる部分が多い場合は「必要性が低い」と評価)]	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	住民税の控除等があり、また守谷市に寄付してもらっており、その使い道を市が決めていることから必要性は高い。しかし、返礼品の品目や返礼品取扱業者の選定など外部の意見を取り入れるべきでは。
(3) 費用に見合った効果 [評価の視点 返礼品及び諸経費を差し引いた純寄附金は効果的に使われているか]	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	各事業の必要経費類に使用されているように思われる。「ふるさとづくり寄附金事業」が終了した際の予算組立が心配である。
(4) 目標の達成状況 [評価の視点 シティプロモーションと地域経済の活性化につながっているのか]	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ○ ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	守谷市内にある企業(アサヒ・明治)の商品が返礼品の上位を占めていることから、どちらかといえばPRに繋がっていると思うが不明である。地域経済の活性化についても取扱い業者の調査が必要である。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	65
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由

この事業は守谷市が独自で辞められる事業ではなく、制度を活用して発展(寄付金増収)させていくべきだと考える。また、シティプロモーションや地域経済の活性化をさらに向上させるための新たな取組み方法を模索する必要がある。

課題と反省